



2024年6月11日

各位

会社名 株式会社石井表記
代表者名 代表取締役 山本晋宏
(コード：6336 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 松井忠則
管理本部長
(TEL 084-960-1247)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について、本日開催の取締役会において現状を評価・分析し改善に向けての方針・目標を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状分析、評価

当社グループの自己資本利益率（ROE）は2024年1月期では前期比減となりましたが、近年では8%以上の水準で推移し、当社の想定する株主資本コストも上回る水準で推移していることから安定的な利益を確保できていると認識しております。

一方で利益確保に伴い純資産が増加していることに対し、ここ数年株価が伸び悩むことにより株価純資産倍率（PBR）は低下傾向にあり2023年1月期末以降は1倍を下回る水準となっております。

当社では以下の事項を株価低迷の要因と認識しております。

- ① 当社グループの事業環境、成長戦略が株主や投資家の理解を十分に得られていない
- ② 株主還元方針が抽象的

当社は安定かつ継続的に配当を行うことを重要な経営課題と考えており、利益水準や将来の事業展開、配当性向などを総合的に判断して利益配分することとしております。

(数値指標)

項目	2020/1期	2021/1期	2022/1期	2023/1期	2024/1期
当期純利益（百万円）	105	726	1,490	1,639	1,101
ROE（%）	3.4	21.6	32.6	25.5	13.7
1株当たり純資産（円）	374.89	450.50	670.18	910.39	1,065.44
株価（円）	670	837	755	677	716
PBR（%）	1.8	1.9	1.1	0.7	0.7
1株当たり配当金（円）	10	10	10	10	15
配当性向（%）	77.5	11.2	5.5	5.0	11.1

2. 改善に向けた方針・目標

事業成長と収益性の向上に取り組むとともに、I R活動の拡充、株主還元の充実に取り組み、P B Rが1倍を上回る水準となることを目標とします。

① 収益性の向上及びI R活動の拡充

(収益性の向上)

足元の事業環境から2025年1月期は減収減益を想定していますが、以下の取り組みを実施し収益性の向上に努めてまいります。

- ・ 営業所の統廃合により販売体制の効率化を推進します。
- ・ 一部製品の生産を外部委託し生産体制を合理化します。
- ・ 将来成長が期待できる分野への参入を目指した研究開発活動を継続します。
- ・ 人的資本経営を推進します。

社員が安心、安全に働ける職場環境実現を目指します。

(I R活動の拡充)

株主、投資家に当社グループの事業環境、成長戦略を十分に伝えるため、以下の取り組みを実施いたします。

- ・ 個人株主向けの当社工場見学会を制度化いたしました。
- ・ 当社ホームページを刷新し、これまで以上に積極的な情報開示を実施いたします。

② 株主還元

2024年1月期の業績は対前期比で減収減益となりましたが配当につきましては、当社グループの財政状況等を総合的に勘案し、1株当たり前期より5円増配の15円の期末配当を実施し配当性向も5.0%から11.1%へ上昇いたしました。

配当につきましては今後も数値的な目標は定めない方針ですが、引き続き配当水準の向上に努めます。

また、自己株式の購入による資本効率の向上も適宜検討してまいります。

以上